| 復興18 | 令和8年度 地域課題研究ゼミナール支援事業　中間報告 | | |
|---|---|---|---|
| 指導教員 | 石川県立大学　長野峻介 | 参加学生数 | 10 |
| 課題タイトル | 粟津自彊団の担い手流出と活動縮小による地域コミュニティの希薄化 | | |
| 活動地域 | 珠洲市 | 連携団体等 | 粟津自彊団 |
| 活動概要 | 能登半島地震後、珠洲市粟津地区では住民や若手世代の転出、生活再建の長期化により地域行事の担い手不足が深刻化している。地区の若手で構成され、地域行事や住環境の保全を担ってきた粟津自彊団においても団員数が減少し、活動規模の縮小や役割の固定化が進んでいる。その結果、日常的な集いの場や情報の循環が細り、山積する復興課題と時間的制約の中で、若い世代の参画意欲が低下する悪循環が生じている。こうした状況を打開するためには、外部の視点と人材を取り入れながら活動の幅と魅力を広げることが不可欠である。そこで、大学生との連携を通じて粟津自彊団の活動を活性化し、地域コミュニティの再生を図ることを本活動の目的とする。 | | |
| 活動状況 | 6/16　6人　活動計画説明<br>6/30　7人　地域の特徴、文化の学習<br>7/11　3人　現地活動　野生動物調査センサーカメラ設置<br>7/14　4人　地域課題、活動内容について議論<br>7/28　4人　「明かり」試作機検討<br>8/18　2人　「明かり」試作機製作<br>9/1　2人　「明かり」試作機製作<br>9/12　9人　現地活動　祭り参加、「明かり」試作機設置<br>9/13　9人　現地活動　野生動物調査　データ回収 | | |
| 今後の予定 | 10月　6人　野生動物調査　データ集計<br>11月　6人　「明かり」試作機課題分析、実機設計検討<br>12月　6人　活動とりまとめ<br>1月　6人　現地報告 | | |

**活動の写真**





